

北陸信越運輸局 シンポジウム

地域公共交通の価値を可視化する ～クロスセクター効果の算出を中心に～

令和3年3月17日

(1) 背景

- 多くの地方自治体において、地域公共交通の確保・維持に係る費用が増大。公共交通への公的負担に対し、効果がどの程度あるかが議論されるようになってきた。
- 地域公共交通政策は、多くの場合、「利用者数」「運賃収入」の増減、あるいは、「収入額」と「公的負担額」の収支によって評価されてきた。
- 利用者・運賃収入が減少する傾向のなかで、利用者減→収支の悪化→コスト減→サービス低下→利用者減という負のスパイラルに陥るケースも少なくない。
- 可視化されていない様々な価値を定量化し、地域公共交通の確保維持のための公的負担の意義を評価していくことが求められている。

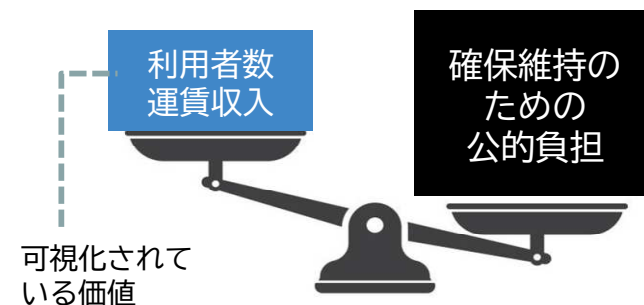
地域公共交通の確保・維持コストが増大

利用者数・運賃収入は伸びない



地域公共交通の維持にかかる公的負担の意義が問われている

現在、評価している対象



本来、評価すべき対象



(2) 目的

- 今年度、可視化されていない地域公共交通の価値を評価するための手法を、管内自治体の路線において算出する調査を行った。
- 本日は、この結果を報告することで、「クロスセクター効果」をはじめとする地域公共交通の価値の評価の考え方と手法の普及を目指す。

No	進 行	内 容
1	基調講演	地域公共交通のクロスセクター効果とは？ 基調講演：土井勉氏 （一社）グローバル交流推進機構（GLeX） 理事長
2	事業説明	調査「地域公共交通の価値を可視化する」の概要
3	これまで定量化 されてこなかった 効果の貨幣価値を 算出する	高齢者の健康と地域公共交通の関係 講演：平井寛氏 山梨大学大学院総合研究部准教授
		考え方と調査の概要
		管内自治体での算出事例の報告
4	公共交通にかかる 費用を代替費用と 比較する	考え方と調査の概要
		管内自治体での算出結果・事例の報告